

ひょうご聴覚者介護支援センター ヘルパー研修

兵庫県聴覚障害者協会

兵庫県神戸市中央区相生町 2-2-8 新神戸ビル 2階

助成事業の概要

クリニックの医師を招き、病気に対する知識を学習

1 実施の目的

当事業所は、介護を必要とされている聴覚障害高齢者に対し、聴覚障害者や手話の出来るヘルパーを派遣し、意志の疎通をはかり、充実した介護サービスの提供を行っています。5割を超える聴覚障害者ヘルパーを含めたヘルパーの人材育成が重要であり、より高度な介護サービスを提供できるよう、手話通訳を設置して定期的な研修会を開催することが必要とされています。

2011年度は貴会助成金の承認を得て、下記の通り5回の研修会を開催する事が出来ました。

2 実施時期・実施内容

第1回 6月25日 「ボディーメカニクス」
ニチイ学館／三宮校による介護技術の実習

第2回 8月20日 「介護保険制度及び困難事例への対応技術」
日本ヘルパー協会副会長を招き、知識及び現場での実体験を学習

第3回 10月15日 「認知症の理解」
兵庫県介護福祉士会会長を招き、認知症の正しい理解と適切な対応方法を学習

第4回 1月28日 「高齢者向け調理実習と講義」
兵庫県栄養士会から管理栄養士を招き、高齢者向けの調理の注意点等を学習

第5回 3月4日 「高齢者の健康ライフ～介護する上で知っておきたい病気」

事業の成果

当事業所の特性として聴覚障害高齢者に聴覚障害壮年者がヘルパーとして介護の手を差し伸べているという事です。より高度な介護サービスを提供出来るよう、定期的に研修会を開催いたしました。今年度は貴会の助成金を得て、技術面・精神面で経験豊かな講師を迎え、より充実した研修会を開催する事が出来ました。

又、聴覚障害を持つヘルパーの情報補償の手段として、専任の手話通訳士を依頼し、より正確な情報を伝えることが出来ました。

更に、当事業所は兵庫県下全域を対象としているため、研修会の開催地は中部地区である神戸市内に限られてきます。各地に配しているヘルパーの交通費補助金として一部を補助する事ができ、参加の意欲を高め、参加者の負担を軽減することが出来ました。

個々の研修の成果は下記の通りです。

第1回：昨年に続き、介護技術の向上を目的に「ニチイ学館」の技術指導を受けた。今回は介助時、利用者さんは当然の事ながら、ヘルパーの心身の負担も軽減する方法の指導を受けた。

第2回：ヘルパーとして介護に携わっているが、「介護保険制度」の内容については知識が浅く、今回は一部分ではあるが、学習

する事が出来た。又、介護現場のヘルパーが利用者の状況を把握・報告する事により豊かな介護を受けられることの責任を痛感できた。

第3回：増え続ける「認知症」を持つ利用者さんに対し、「認知症」の理解と対応について、脳の構造と原因、特徴等を交えての研修を受けた。

第4回：主に高血圧を防ぐ食生活への指導であった。減塩による薄味を香味食材によって、カバー・置き換え等、ひとくふうを学んだ

第5回：高齢者に多い、「パーキンソン病」「肺炎」「糖尿病」についての学習を中心に、冬に多く発生する「ノロウイルス」の感染経路や、症状・予防方法を、細かく学習した。